

書類
番号

15

区連会 4 月 定例会 資料
令和 4 年 4 月 20 日
南区 福祉 保健 課

自治会町内会長 各位

南区民生委員児童委員協議会
会長 栗田 一伸

「民児協だより みなみ」第 24 号の回覧について

時下、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから民生委員・児童委員活動に御支援・御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、当協議会では毎年「民児協だより みなみ」を発行しており、このたび第 24 号が出来上がりましたので、自治会・町内会長の皆様にお届けいたします

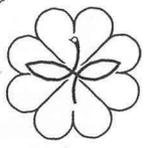
つきましては、御多用のところ恐縮ですが、地域の皆様に私ども民生委員・児童委員の活動を知っていただきたく、自治会・町内会での回覧につきまして御協力をお願いいたします。

(問い合わせ先)

南区民生委員児童委員協議会事務局
(南区福祉保健課運営企画係内)

担当：佐々木、吉澤

TE：341-1182



明るく 楽しく 前向きに

民児協だより

みなみ

第24号



横浜市民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」

発行日：2022年2月

発行：南区民生委員児童委員協議会(南区福祉保健課内)

所在地：南区浦舟町2-33 Tel.045-341-1182

南区民生委員児童委員協議会 会長挨拶

～令和4年 一斉改選に向けて～

平素より民生委員・児童委員活動にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。地域福祉の推進が、皆様方の日々の活動により支えられていることに深く感謝いたします。

一昨年からのコロナ禍により地域の様々な活動や人々の生活が大きな影響を受けました。今後も「新たな日常」での民生委員・児童委員の活動が求められるところですが、私たちが紡いできた身近な地域での「つながり」や「支えあい」、「助け合い」の活動は、今後もますます大切になってくると思います。

さて、本年12月には3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選が予定されています。委嘱に当たっては、地域にお住まいの皆さまの中から候補者をお選びいただき、自治会町内会等により推薦をいただく必要があります。自治会町内会の皆様には、御協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

今後もこれまでの活動や課題を振り返り、地域への思いや「縁」を大切にしながら住民に寄り添った活動を続けていきたいと考えています。

皆様方の御協力をよろしくお願いたします。



会長 栗田 一伸

令和4年12月1日に“一斉改選”が行われます。

現在、南区では266名(定数282名・欠員16名)の民生委員・児童委員、主任児童委員が活動しています。

令和4年12月1日付けの一斉改選については、各自治会町内会長等(主任児童委員は連合自治会町内会長)に候補者の御推薦をお願いします。

また、民生委員・児童委員、主任児童委員には次のとおり年齢要件があります。

	民生委員・児童委員	主任児童委員
新任	原則68歳まで(昭和28年4月2日以降出生)の方 候補者の選出が困難な場合は74歳まで (昭和22年4月2日以降出生)の方	原則54歳まで(昭和42年4月2日以降出生)の方 候補者の選出が困難な場合は58歳まで (昭和38年4月2日以降出生)の方
再任	74歳まで(昭和22年4月2日以降出生)の方	原則60歳まで(昭和36年4月2日以降出生)の方 候補者の選出が困難な場合は64歳まで (昭和32年4月2日以降出生)の方

民生委員・児童委員の活動について紹介しています。見てね!



民生委員・児童委員活動を振り返って

前任者の方が急に辞めてしまい、私の所に町内会長が毎日のように来て、とうとう根負けし民生委員を受けることになりました。

はじめは町内会の名簿を頼りに一人暮らしの高齢者を訪問し、その他の民生委員の仕事は会長に教えていただき少しずつ覚えていきました。

焦らず、根気よくゆっくりと関係を築く

ある日、毎日、散歩をしている男性に気がつきました。

言葉も上手く話せず、身体も不自由なようで、話しかけても反応がなかったので、その後も気にかけていたところ、近くのお宅であることがわかりました。表札もなく、庭は荒れ放題でした。なんとかご本人のお名前だけでもと伺ってみました、お話ししてはもらえませんでした。

それから3か月余りかけ、家族の名前、住所、生年月日をお聞きすることができようやくいろいろとお話していただけるようになりました。

地域の「見守り」は民生委員の活動のひとつですが、対象者一人ひとりの状況も違っているため、焦らず根気よく、ゆっくりと信頼関係を築きながら対応する必要があり、難しいなと感じることもあります。

それでも、お互い笑顔でお話ができ、何かと頼りにされて相談を受けることは嬉しくもあります。

こんなに長く活動を続けていけるとは思いませんでしたが、これもひとえに別所地区の民生委員・児童委員の皆様の後ろ盾があってこそだと思います。

感謝、感謝です。

渡邊 佳世子(別所地区)



民生委員・児童委員の定年を迎えるにあたって思うこと

活動するたびに悩んでいたこと

民生委員・児童委員を引き受けてから長年、活動を続けてきましたが、今年の11月末に定年を迎えることとなりました。

これまでの活動を振り返ってみて、いつも頭を悩ませていたのは、民生委員の活動は相談者に対してどこまで入り込めばいいのかという点です。

相談者によって各々の事情は様々なので、余り深く立ち入って欲しくない方に対しては、あえて表面的な関わり方にして、遠くから見守るようにします。

しかし、もう少し上手に入り込んで、いろいろと悩みをお聞きすることで、より適切な支援ができたのではないかなど、後で後悔することもしばしばあります。

次の担い手が見つからない！

これから、後任の方に順調にバトンタッチをしていく必要があります。

どの地区でも後任者の選出には苦勞されていると思いますが、山の上にある三春台、三春台東地区も大変困っています。

この地域には、地域のために役に立ちたい、何かお手伝いしたいと思っている方が必ずいらっしゃると思います。私たちは、なかなか、そのような方たちを探し出すことができなくて、もがいています。

私自身は民生委員・児童委員を退任しますが、いつまでも地域のことを見守って暮らしていきたいと思っています。



藤井 幸(太田地区)

引き継がれる子育てサロン「あかいくつ」

蒔田地区子育てサロン「あかいくつ」は、蒔田コミュニティハウスで毎月第1火曜日に開催されています。

地区民生委員児童委員協議会の方々の努力と民生委員を卒業された方達の協力により、ママと未就園児のくつろぎと交流の空間となっています。



子育てサロン「あかいくつ」
毎月第1火曜日(月1回) 蒔田コミュニティハウス2階

それぞれの月に合わせた行事や絵本の読み聞かせ等を毎回楽しく興味を引くよう工夫しています。歴代の民生委員の紹介で参加するママさんたちも多く、蒔田地区の何代も前の民生委員から引き継がれている事を知り、改めて「あかいくつ」の歴史を感じました。

素敵な事はずっと続けなければと思います。毎回、主任児童委員の考案した素敵なレイアウトが楽しみです。

新型コロナウイルス感染予防対策は運営委員一同、マスク・消毒は勿論、人数制限もしっかり行っているの、参加者は安心してひとときを過ごすことができます。

10月は先生をお招きして「親子ヨガ」を開催しました。2組の親子のみの参加でしたが、お子さんと一緒にストレッチ、その後は紙芝居を行い約1時間、身体と心が少し軽くなったような表情のママさんたちでした。

地域の中で根づいている「あかいくつ」をこれからもずっと次の世代にも引き継いでいきたいと思います。

お気軽に遊びにいらしてください。

楽しくてホッとする時間を一緒に過ごしましょう。

大石 栄子(蒔田地区)

民生委員・児童委員 主任児童委員の活動

ちょこっと体操 笑いヨガ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた行事の多くが中止となり、室内での行事にも制限がかかるため、運動不足になっている人が楽しく体を動かせる「ちょこっと体操 笑いヨガ」が六ツ川地域ケアプラザの主催により開催されました。

六ツ川地区の民生委員が地域の高齢者の皆様に声掛けをし、当日は感染症対策を講じた上でマスクをしながら行いました。

別所中里台公園や六ツ川中央公園で20名前後の参加がありました。笑いヨガ(ラフターヨガ)は従来のヨガに「笑い」を取り入れた体操です。笑い声を出す事で新しい酸素を体内に取り入れ、心身ともにリラックス効果があると言われています。

マスクをしながらではありますが、笑いヨガの掛け声「ほっほははは、ほっほははは・・・」と言い呼吸を整えながら体操します。



皆さん、照れながらも終始にぎやかな雰囲気です30分間楽しそうにやっていました。

星 喜美子(六ツ川地区)



これからも緑のおじさんを！

平成17年7月に就任した際に、民生委員は児童委員を兼ねているということで、町内会のお母さんに相談し、近くの小学校の「学童を守る会」に入り、毎朝の通学時の見守りを始めることにしました。

民生委員は2年前に定年を迎え退任しましたが、子どもたちの見守りは続けています。

「習慣は健康をつくる」

私が現役時代に聴いた講演会で「習慣は健康をつくる」という言葉に、大変感銘を受けました。

歩いたり、運動することを毎日継続することが健康につながるという内容で今日までこれを座右の銘としてきました。この言葉が私の今の見守り活動につながっていると思います。

これまで民生委員として地域で活動してきたことが、地域の人と人とのつながりや居場所づくりにつながり、私自身の生きがいになっています。

毎朝、学童に「おはよう」の声かけをして、子どもから元気ももらっています。緑の帽子・ジャンパーを着て、体力の続く限り見守りを続けていきたいと思っています。

秋 秀夫(元北永田地区民生委員)



南区主任児童委員の活動

南区主任児童委員連絡会では、昨年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定例会の書面開催や、南区の四季折々のお祭り参加などの中止が相次ぎました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のお祭り等への参加は全くできませんでしたが、研修等の活動ができました。

▶8月～9月 南区地域子育て支援拠点「はぐはぐの樹」訪問研修

清潔で居心地が良く、子育てに関する情報が豊富で利用者の立場に立って作られているすばらしい施設でした。実際に訪問することで地域の子育て中の親子に、より詳しく「はぐはぐの樹」を伝えることができると、大変好評でした。

▶11月 「専任先生との交流会」



毎年開催している「専任先生との交流会」では、区内の小中学校の先生、SSW(スクールソーシャルワーカー)と主任児童委員が、コロナ禍での学校や地域の様子について

お互いに情報を交換し、子どもに関する地域の課題等を共有する有意義な時間となりました。

「商店街との協働によるオレンジリボン運動」

弘明寺商店街と横浜橋商店街でキャンペーンを行い、商店街の方に児童虐待防止啓発グッズを配付しました。



▶12月 「子ども・若者どこでも講座」

昨年度は中止となった公益財団法人よこはまユースの出張講座を開催しました。

「最近の親子関係の現状と課題、その支援について」と題し、前半の講義の後、「主任児童委員として何が

できるか」というテーマでグループワークを行いました。



これからも、様々な内容の活動を企画・実施していきます。

主任児童委員を引き受けて

今から十数年前に主任児童委員に任命された時は、何をすればいいのか戸惑っていた自分を思い出します。

まずは、地域の民生委員児童委員協議会がどのような活動をしているのか、お手伝いをしながら覚えていきました。自分なりに地域の事を知っているつもりでしたが、その中身は全くの素人でした。

今は、赤ちゃん訪問、子育てサロン、地区社会福祉協議会の広報誌作り等のお手伝いなどを通じて、楽しんで活動ができています。

コロナ禍の中、毎日の生活に不安やストレスを抱えている方達も多いと思いますが子どもたちがいろいろな意味で傷つく前に大人が手を差し伸べられる地域でありたいと考えながら日々の主任児童委員活動をしています。

(永田みなみ台地区主任児童委員 荒木田 奈保美)

編集後記

一昨年からの、新型コロナウイルス感染症の流行はずっと続いており、民生委員・児童委員の年間のプログラムは令和3年もほとんどが中止となりました。

広報編集委員会では、今回の記事について何にスポットライトを当てたら良いのか、頭を悩ませました。それ故か、それに関係なくか、ここに充実した素晴らしい24号が出来あがりました。

編集に際しまして、御協力いただきました皆様には深く感謝申し上げます。

清水 都(寿東部地区)



編集委員会 ◎編集委員長 ○副委員長

◎清水 都(寿東部地区)

○畑 雅博(北永田地区)

飯田 幸正(太田地区)

後藤江美子(別所地区)

星 喜美子(六ツ川地区)

大石 栄子(蒔田地区)

横浜市版民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」の御紹介

東京都民生児童委員連合会が作成したキャラクター「ミンジー」をもとに、ご当地版として候補デザインを募り、市内の民生委員・児童委員の投票により決定しました。

民生委員の「民」(みん)と児童委員の「児」(じ)をとって「ミンジー」です。

集団生活を営む中で、皆で協力して子育てをするペンギンをイメージキャラクターとして起用しています。



横浜市版民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」